

議事録

平成20年度 第76回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成20年5月27日(火) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、近藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、板谷外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、稲月学生部長、二宮教務部長、晴山都市政策研究所長、赤塚学術情報総合センター長、吉塚地域貢献室長

配付資料

- 1 教員採用選考報告書(地域創生学群)
- 2 学長選考(選考会議委員の選出)について
- 3 平成21年度入学試験スケジュールについて
- 4 平成20年度進路指導担当者懇談会について
- 5 禁煙週間の取り組みについて

〔 冒頭、第74回及び第75回教育研究審議会議事録(案)について確認。 〕

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、地域創生学群(情報システム論)について、選考委員会から採用候補者(佐藤貴之氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 学長選考(選考会議委員の選出方法)について

第2号議案 近藤副学長が議長として議事を進行

* 資料2のとおり、学長選考会議委員の選出について事務局から説明。

《学長選考会議について》

学長選考会議は学長選考のときにだけ設置されるのではなく、常設機関であり、学長の解任などについても審議を行う。

議事録

《選出方法について》

事務局原案に対して各委員から次のような意見が出された。

(合議案)

現行の提案（投票）では学問分野のバランスへの配慮が不十分である。合議ではそういった部分への配慮も可能であるので、合議にした方がよいのではないかと。

自薦・他薦に基づく合議の中で、グループ（選挙に基づく組織の長：8名）から2名、グループ（学長の指名による組織の長：8名）から1名選出することにより、教育研究審議会委員及び大学全体の教員の意見が反映されるのではないかと。

(投票案)

それぞれのキャンパスの教員の数や、学部教員の意見の反映という点を踏まえて、北方からはグループから1名ずつの計2名とし、ひびきのはグループから1名とするのがよいのではないかと。

グループ、グループや、北方、ひびきのなど枠を設けた場合、別々に選挙するのか。事務局提案のように、枠はあってもそれぞれから選んで、3名連記で投票すればよいと考えている。

グループからそれぞれ1名ずつ選んだ場合、3人目の選択は、投票者の意向を尊重するというので、どちらのグループから選んでもよいと考える。

区分を設けて選挙した場合でも、同一学部から複数名当選する可能性がある。そのときの処理は、どうするか考えておく必要がある。

《まとめ》

以上の議論を踏まえ、学長選考会議委員の選出は投票で決めることとする。なお、この選出方法については、内規とするのではなく前例として取り扱う。

投票は、3名連記無記名で行い、開票後すべての得票者を得票数順に並べて、それからグループに分ける。北方からはグループから1名ずつの計2名、ひびきのからは特に条件は設けずに1名を、そのグループの中で順位の高い者から選ぶ。委員が同一学部に偏らないようにするため、仮にグループの1位とグループの1位が同一学部の場合、その得票数に差があるときは得票数の多い方を優先し、同票のときはグループを優先するものとする。

投票は6月3日12時～14時に行いたい。当日、不在の者については6月2日、4日に不在者投票を行う。選挙管理委員会は置かないが、北方については近藤副学長、尾上事務局長に、ひびきについては松藤副学長に管理をお願いしたい。

投票方法や投票結果の取り扱いについては、今日の議論を踏まえ整理する。

【議長】提案について、一部修正のうえ、承認してよろしいか。

議事録

【委員全員】(異議なし)

報告

平成21年度入学試験スケジュールについて、資料3のとおり報告があった。

平成20年度進路指導担当者懇談会について、資料4のとおり報告があった。

禁煙週間の取り組みについて、資料5のとおり報告があった。